

## 日本の木材活用リレー

2020東京オリンピック・パラリンピック

# ～みんなで作る選手村 ビレッジプラザ～

こんにちは!! 津久井地域経済課です。

いよいよオリンピックイヤーですね。このビレッジプラザレポートも今号で第4弾となりました!!

今回は1月31日に開催されました「選手村ビレッジプラザ内覧会」の様子をレポートします。

午前10時30分、冬晴れの中、木材の提供にご協力いただいた事業者の皆さんと一緒に、中央区晴海の「選手村ビレッジプラザ」建設現場に到着。受付を済まして敷地に入ると、木材が複雑に組み立てられた建物が私達を迎えてくれました。施設内に足を踏み入れた瞬間、「おぉ～」と感嘆の声とともに、無垢の木の優しい香りに包まれました!!

早速、相模原市の文字が印字された木材は何処か、建物内部をウロウロと探索。すると、開催期間中は選手村メディアセンター等として使用される建物の床に「相模原市 Sagami City」の文字を発見!!よく見ると周りの柱や梁など、いたる所に使用されていました!! 参加された事業者の皆さんからは喜びの声が聞かれました。

「みんなで作る選手村ビレッジプラザ」事業には、全国から63自治体が参加し、約4万本もの木材が提供されています。本市からは約180本のスギ材を提供いたしました。全体の1%にも満たない量ですが、なかなか巡り合うことのない日本で開催されるスポーツの祭典に、この様な形で関わることができ、非常に感慨深い事業であると改めて感動いたしました。

世界から来日されるトップアスリートに、日本の「素晴らしさ」と「おもてなしの心」が届くことを願っています。

